

令和6年度 推薦入試の合否基準の目安

★合否の判定

中学校から提出された書類をもとに面接を行い、規定の評価基準に照らし、面接の結果について審議して合否を判定する。

1. 内申の評価

A段階：以下のア～ウの基準を満たし、かつ3カ年間の評定平均が4.0以上あるもの

B段階：以下のア～ウの基準を満たし、かつ3カ年間の評定平均が3.0～3.9（特別枠は評定平均2.7～3.9）のもの

C段階：以下のア～ウの基準を1つでも満たしていないもの

[内申基準]

ア. 成績について

3カ年間の評定平均が3.0以上（特別枠は2.7以上）で、評定に「1」（5段階）がないこと。

イ. 出席状況

無届の欠席が各学年とも3回以内であること。

ウ. その他、行動の記録等に問題がないと認められるもの。

2. 推薦項目の評価

次に定めた評価基準にもとづいて、高い順からA・B・C・Dの四段階とする。

(1) 「自己表現」のランク ※最も実績を残した活動を示す証明書が必要。

	(ア)文化活動	(イ)スポーツ活動 *当該競技の登録メンバー表も提出	(ウ)ボランティア活動 (エ)社会活動	(オ)資格取得等の活動
A	・全国、九州大会出場 ・県レベルの金賞、最優秀賞、優秀賞 ・古典芸能コンクールの新人賞以上	・全国、九州大会出場 ・県大会ベスト4以上 ・各競技団体が選抜する県選抜選手 ※団体競技は登録メンバーとする(マネージャー含む)	・3年間活動を継続した者で、県全域を対象とした団体からの表彰 ・生徒会長、副会長	・英検準2級以上 ・漢検準2級以上 ・数検準2級以上 ・書写検定準2級以上 ・珠算段位以上 ・P検定3級以上(ICTプロフィエーション検定)
B	・県レベルの優良賞、佳作、奨励賞、銀賞、銅賞、 ・地区レベルの最優秀賞、優秀賞、優良賞	・県大会ベスト8 ・地区大会ベスト4以上 ・各競技団体が選抜する地区選抜選手 ※団体競技は登録メンバーとする(マネージャー含む)	・3年間活動を継続した者で、市町村及び地域団体からの表彰 ・生徒会執行部	・英検3級 ・漢検3級 ・数検3級 ・書写検定3級 ・珠算1～2級 ・ワープロ検定準2級以上 ・各種武道段位以上
C	・学校代表 ・3年間活動を継続した者	・学校代表選手 ・3年間部活動を継続した者(マネージャー含む)	・3年間活動を継続した者 ・正副HR長	・英検4級 ・漢検4級 ・数検4級 ・書写検定4級 ・珠算3級 ・ワープロ検定3級 ・各種武道⇒級位
D	・上記に該当しない者	・上記に該当しない者	・上記に該当しない者	・上記に該当しない者

上記以外の実績については、それぞれのランクに照らして決定する。

(2) 「個性表現」のランク

申請のあった内容で10分程度の発表をした後、5分程度の質疑を行う。

面接官で「自己表現」のランクに照らし合わせてA・B・C・Dの評価をする。

(3) 「特別枠」のランク

申請のあった内容で10分程度の発表をした後、5分程度の質疑を行う。

面接官で質疑の内容に応じて評価をする。

3. 面接の評価

15分程度の面接を行い、A・B・Cの三段階で評価する。